

電計処理員(1/2)

1 仕事の内容

電計処理員は一般的な電子計算機に関わる技術について教育を受けた隊員であり、各部隊等が保有する情報システム、ネットワークなどの維持管理、操作、一部運用等の業務、電計処理幹部の下でシステム設計関連の補助的業務並びに電算機に関する教育などを行います。

2 仕事に就くために

電子計算機に関わる一般的技術について教育を受けるために第2術科学校に入校し、「IT基礎」課程(約1ヶ月)を経て「情報システム管理」課程(約2ヶ月)を修了することで、副特技として「電計処理員」が付与されます。(現在は、いずれの課程も特別講習として実施しています。)

3 主な勤務地

後方系(経理、補給、整備データ等)システムのある部隊等での所要が多く、補給本部、艦船/航空補給処、造修補給所などでの勤務が主流です。また、電計処理員の主特技が多岐にわたり、どの部隊等でもコンピュータ・ネットワークが導入されていることから、全国の部隊等で勤務できます。2術校の課程を修業した隊員の多くは原隊に戻って活躍しています。



(データの入出力作業)



(ネットワーク管理作業)



(第2術科学校での教育)

電計処理員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許

情報処理に関する公的資格を取得するための下地となる知識、経験を身につけることができます。

5 ライフスタイル

電計処理員の特技を取得するに当たって、年齢、性別、経歴、経験等の制限はありません。通常、教育隊終了後、艦艇、航空等の要員として主特技(通信、補給、航空電子整備等)を取得した隊員が、本人の希望や配属先の所要などにより、2術校の課程に入校しています。これまで、同課程に入校した最年少は24歳、最年長は45歳であり、それぞれ部隊で活躍しています。

電計処理員の一日の流れ(例)

0715頃 登庁
0800(1200)仕事
1200(1300)昼食
1300(1645)仕事
1730頃 退庁

6 先輩からの一言



学生時代にパソコンに興味を持ち、パソコン関係の仕事就くことが夢でした。

副特技で電計処理員として勤務できることを知り、入隊当初から希望して十数年が過ぎ、念願の電算機課程に入り、さまざまな知識を学び、今では電計処理員として勤務しています。周囲に支えられここまでこれましたので、期待に答えられるよう日々精進したいと思います。